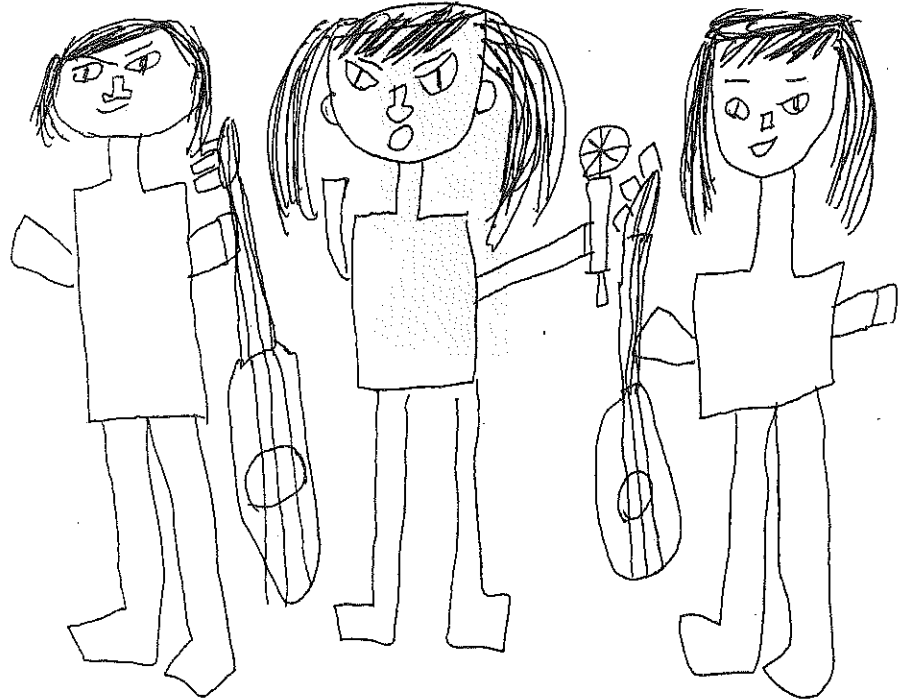


働こう障害者も 働けるんだオレ達も
こぶしだより

2000年11月30日発行

発行責任者
藤田勝春
編集責任者
田澤幸子



今月の紙面

- ① 特集 (1~2 ページ) 共作連栃木支部
- ② 仲間 (3~4 ページ) キッチンセルフ・仲間の声
テレビ班
- ③ 保護者・こよみ (5 ページ)
- ④ トピックス (6 ページ) 緑化祭・町民祭

ロック 黒ゆめ
けやき 野沢直人

社会福祉法人
こぶしの会

- *法人事務局
こぶし作業所 321-0902 栃木県宇都宮市柳田町 1401
028(662)1911 028(662)1912
- *けやき作業所 321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町 祖母井 2244
*デイサービスセンター 028(687)1040 028(677)5789
- *第二けやき作業所 321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町 稲毛田 1532
028(677)0495 028(687)4818
- *グループホーム
ときわ荘 321-0954 栃木県宇都宮市元今泉 6-14-20
028(662)5533
- *グループホーム
すずらん 321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町 祖母井 2305-2
028(677)4430

特集 ①

（今月は、社会福祉法人こぶしの会・こぶし作業所の誕生・発展と深いつながりのある共同作業所全国連絡会（以下「共作連」という。）及び栃木支部の活動を取り上げてみました。

共作連は、一九七七年に全国一六の共同作業所が加盟して結成されましたが、こぶし作業所はそのうちの一か所だったので、

共作連は、成人期障害者の働く場の確保をはじめとして、地域生活支援のさまざまな課題に取り組んできましたが、昨年度ようやく栃木県にもその支部が結成されました。

現在の活動状況と、これからの取り組みを紹介します。

小規模通所授産施設解説セミナー
開催される

共作連栃木支部では、去る一〇月二二日に宇都宮市総合福祉センターを会場に、小規模作業所を対象にした標題のセミナーを開催しました。このセミナーは、障害者問題の重要課題の一つ、小規模作業所問題の解決に一步近づくための新制度を詳細に解説するための研修会でした。

現在、小規模作業所は、全国で五五六六

か所（本年八月現在）を超え、昨年度比三六四か所の増で、実に一日に一か所が全国のどこかで誕生していることになりました。これらの作業所には六万人以上の障害のある人々が働いており、成人期障害者にとつて無くてはならない社会資源になっています（栃木県内は、八三か所、昨年度比一四か所増）。

しかし、小規模作業所に対する国の補助金は、年間一〇万円であり（対象作業所数は全体のほぼ半数の二五九五か所のみ）、多くは地方自治体の補助金や作業所独自のバザーや事業活動で何とかやりくりしているのが実情です。今年七月にスタートした第二けやき作業所（精神障害者の小規模作業所）も、県の補助金三〇〇万円程度、芳賀郡内の市町村の補助金の単価が年間一人当たり七万六千円（昨年は八万円）で運営せざるを得ません。

研修に先立って栃木支部が実施した調査でも、（運営費が足りなくて）一男性職員が雇えない一（二名の職員が義務づけられているが）雇えない一などの事業そのものを存続させるのがやっとという実態が明らかになっています。

今回の社会福祉法の施行を通じて実施さ

れる「小規模通所授産施設」は、こうした実態を踏まえて、社会福祉法人取得の要件緩和策として現われたものです。

その大まかな具体的内容としては、①現金や預金など一〇〇万円の資産があればよい②ただし、小規模作業所の運営については、五年間以上の実績が必要なこと③設置運営できる社会福祉事業の範囲は、授産施設の運営に加えグループホーム、地域生活支援センター、ホームヘルパー派遣事業である④建物の面積や建築様式は問わない⑤職員の資格の基準は設けない⑥年間の運営費は一〇〇万円、施設整備費及び設備整備費の限度基準額は、それぞれ二四〇〇万円、八〇〇万円、等々となっています。

こぶしの会は、社会福祉法人格を取得しすでに二〇年を経過しましたが、取得のときの苦労、そして現在も必要な財源を作り出すために大変な思いをしていることを考えると、これら五〇〇〇余か所の悩みは、決して無関係なものではありません。今回のセミナーに参加された二五作業所・準備会、五〇人を超える関係者の熱い期待に、共作連栃木支部の事務局を担っている、こぶし・けやき両作業所の役割を改めて実感させられました。

（けやき 高橋）

第三四次国会請願署名運動はじまる

署名にご協力をお願いします

不十分度一〇〇% 小規模作業所問題、
第2ラウンドのゴングがなりました

共作連運動のすごさのひとつは、国民の請願権を結成以来行使してきたことです。成人期障害者の課題を多くの国民に伝え、毎年一五〇万人もの署名を集めて、衆・参両議院議長あてに、党派を問わず賛同いただけるとしての国会議員に紹介議員になつていただいて提出してきました。請願書はしばしば国会で取り上げられ、超党派で議論されてきました。小規模通所授産施設制度も、「小規模作業所問題」の解決を今世紀中に一を合言葉に二三年間続けてきた国会請願署名というポディブローが徐々に効き始めたということでしょうか。しかし、この制度の内容は、前に述べたとおり、まだまだ不十分なものです。引き続き強力な運動を展開しなければなりません。

どうぞ、署名へのご協力をお願いします。

(こぶし 田澤)

請願項目

一 小規模通所授産施設制度の運営費ならびに施設整備費等について、これを二〇人以上の通所授産施設の水準と同等にしてください。また、「小規模社会福祉法人」の運営対象事業については、地域生活関連の各種事業全体をその対象にしてください。なお、小規模作業所に対する、国庫補助制度については改善・拡充をはかってください。

二 利用契約制度への移行にあたっては、公費の支弁水準を低下させることなく、また利用者の選択性を高めるための関連社会資源の増大をはかってください。

三 障害のある人々のための施設制度・体系を再編してください。とくに重度・重複障害者を対象とした通所型施設制度の創設、および精神障害やてんかん、高次脳機能障害、アルコール・薬物依存の人々に対応した社会福祉施設制度の拡充をはかってください。

四 グループホーム・福祉ホームなど、生活の場への補助金を増額してください。

五 安心した地域生活が営めるよう、介護

ならびに権利擁護制度の充実をはかり、とくに所得保障制度については障害基礎年金制度の改革を中心に大幅にその拡充をはかってください。

〇〇一年共作連カレンダー販売事業
いよいよ山場に

今年もカレンダー販売の季節になりました。今、共作連に加盟する一一〇〇か所近くの作業所では、働く仲間たちの冬のボーナス資金づくりや施設建設費の借入金返済のための財源づくり等々さまざまな目的をもつてカレンダー販売に取り組んでいます。

例年大好評をいただいている「働く仲間」のうた「カレンダー」は、全国の作業所の仲間によりすぐった作品です。作業所の生活が充実するのに比例して、作品も、専門家がびっくりするほどのできばえになりました。

こぶし・けやき両作業所、全国の作業所支援のためにカレンダー購入にご協力ください。

(こぶし 関)

笑顔あふれて！

キッチンセルプオートフレスト

とちぎ福祉プラザ内に、こぶし作業所の仲間が運営する軽食喫茶「キッチンセルプ」が開店してからまもなく一ヶ月になろうとしています。仲間四人が保護者の方々、ボランティアの皆さんのご協力を得て日々働いています。

福祉プラザの利用者は、福祉関係者が多いためか、キッチンセルプの活動を理解し、温かく見守ってくださっているようです。

実習が短期間だったにもかかわらず、仲間たちも、接客、飲物を作る、レジをうつ、その他に個々の仕事、とその仕事ぶりには目を見張るものがあります。飲物の担当をする大橋さんは、コーヒーマシン（二台）の操作もマスターし、コーヒーの他、紅茶・冷たい飲物なども対応しています。人と話すことがちよつと苦手なようでしたが、今では元気な声で、お客様が入ってくる、「いらつしやいませ！」とお迎えしています。また、評判の高い？手作りカレーの仕込みに「おいしいカレーを！」の思いを込め積極的な参加が評判の高さにつながっ

ているようです。レジの松永さんは数字に強いという特技を生かし、レジを担当、最近では、接客の仕事、カレーの仕込み、サラダ作り、ほうきを持ち掃除と仕事の幅を広げています。食材の買い出しと接客担当の木村さんは、大きな声で注文を受け「お客様さんにコーヒーや水を出すのが楽しい！」と話しています。斉藤さんは、とびきりの笑顔でボランティアさんと一緒に、お客様に明るさと、あたたかさをたつぷりサービスしています。

仲間が作業所から外に出ることにより、意欲的に取り組むことができ、自信がもてるようになってきたと思います。

歩き始めて間もないキッチンセルプですが、多くの方々に利用して頂けるよう仲間と力を合わせ頑張っていこうと思います。皆さん！ご支援を！

（キッチンセルプ 鷺尾）



仲間の声

く石けん班の朝は・・・

そう、ラジオ体操で始まります。石けん製造が忙しくなり、散歩の時間がとれなくなったので、それに代わる体力づくりとして、高島さん、佐々木さん、牛丸さん、野中さんの四人で体操をします。散歩を体操に変えて効果はどうでしょうか・・・

くテレビや新聞では見られない

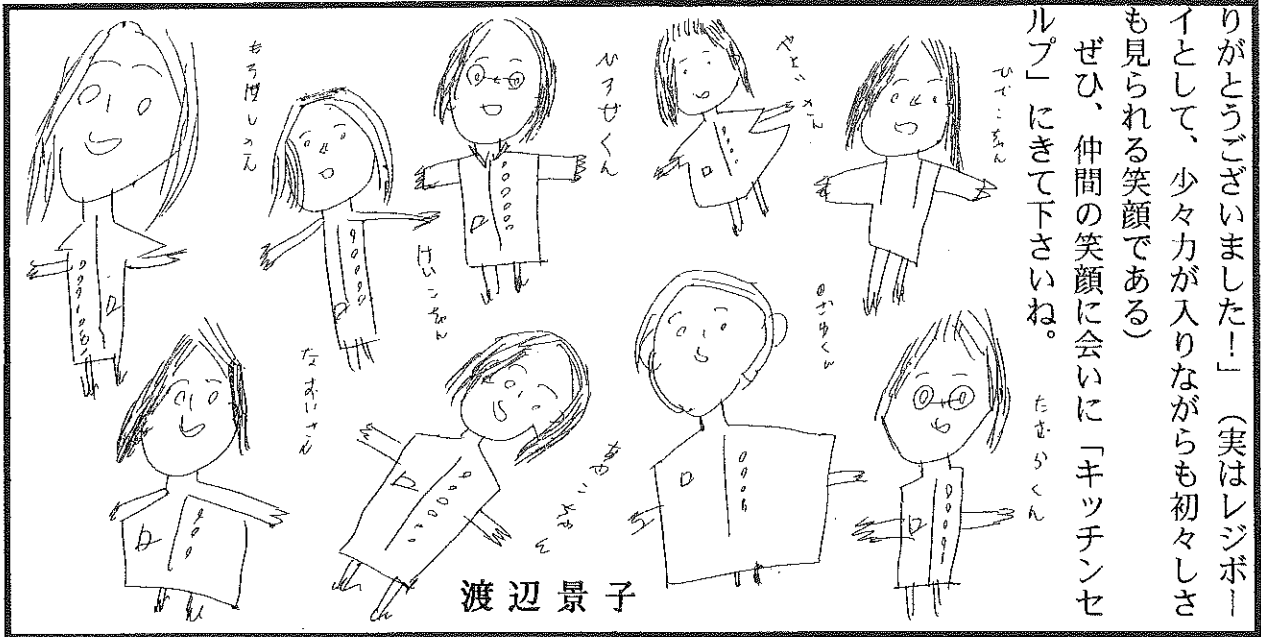
「キッチンセルプ」の仲間の素顔く

大橋さん「いらつしやい。カレーおいしいよ」（とつても嬉しそうな少し少ししいな笑顔）

木村さん（フレンドリーな笑顔を見せて）「コーヒー、おいしいですよ」

齋藤さん「どうぞ」（言葉で言うのは簡単だが、実は身振り手振りを駆使しながらお客様に笑顔を振る舞うのである）

松永さん「いらつしやいませ！」「ありがとうございます！」（実はレジポ-



りがとうございました！」（実はレジポ
イとして、少々力が入りながらも初々しさ
も見られる笑顔である）
ぜひ、仲間の笑顔に会いに「キツチンセ
ルプ」にきて下さいね。 たけし

仲間と一緒に考え解決

こぶし新作業
『テレビ』班

九月五日より午前中のみの仕事として、
テレビ班の作業が始まりました。

メンバーは仲間四名、職員一名の少人数
な班です。仕事内容は、地震などによるテ
レビの転倒を防ぐための留め具やネジ、説
明書を袋詰めするというものです。作業と
しては手も汚れずにとってもきれいな仕事で
すが、破いたり汚したりしてはいけませんと
いう面で気を使いながら行う仕事です。

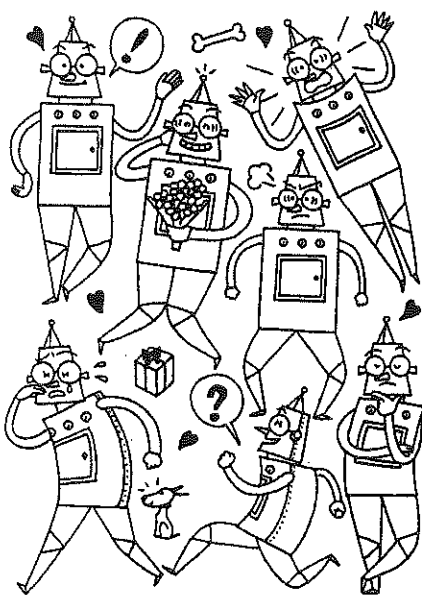
作業開始時は、自分の従来通りの仕事が行
えずにパニックを起こす仲間、じつとし
ていられずに席を立ち何処かへ行ってしまう
仲間、袋を開けるのに力を入れすぎて何
枚も袋を破いてしまう仲間といろいろでし
た。「これで本当に大丈夫かな？」と言う
不安いつぱいの始まりでした。

そんな仲間も、徐々に仕事に慣れ、テレ
ビ班の仕事を自分の仕事として受け止める
ようになり、一ヶ月が経つ頃には随分と変

わりました。作業中、席を立つこともほと
んどなくなり、袋を破ってしまった仲間
も上手に袋が開けられるようになってき
ました。それに加えて今では、不足してい
る部品があると自分で用意をする仲間や、
率先して準備や後片づけを始めてくれる仲
間もいます。そして何より驚いたのは仕事
のペースです。作業開始時では考えられな
かった程、早く行える仲間がいたことでし
た。

二ヶ月を過ぎた今でも、残された課題は
沢山ありますが、焦らずに、仲間のペース
で少しずつ克服していけたらと思っていま
す。又これから先も、もつといろいろな課
題が出てくるかもしれませんが、仲間と一緒
に考え解決していく中で、少しでも喜びや
自信を共有していけたらと願っています。

（こぶし 直井）



おむすび

耕正がけやき作業所に入所させていた
きまして、約半年になりました。

事故に遭う前の耕正は、本を読むことや
昆虫が大好きなとても明るい子供でした。

小学校二年生の時、集団下校で帰る途中
居眠り運転の車にはねられ意識不明の重体
となつてしまいました。「命は助かつても
植物人間になるかもしれない」と言われま
したが、約十年がかりのリハビリにより、
やつと今の耕正になりました。脳挫傷によ
り右半身マヒ、など後遺症が残りましたが
奇跡的な回復をしてくれました。

我が家では、理容業をしておりますので、
常にお客さんがいらつしやいますが、耕正
のほうから挨拶し、話をしています。

また、家族でリハビリを兼ねてカラオケ
ハウスに行つて楽しく唄を歌っています。

土日の休日などは、主人の趣味である無
農薬野菜作りには率先して手伝いをしてく
れて大変助かつております。

とにかく、耕正の将来のことを常に前向



きに考えていきたいと思つております。
幸い、耕正も毎日、生き生きと楽しく、
けやき作業所に通つていきますのでよろしく
願ひします。
(保護者 豊田 有子)

こよみ

12月

こぶし

- 2日(土) 職員会議
- 16日(土) 指導会議
- 23日(土) クリスマス会・忘年会
- 29日(金) 1月3日(水)
年末年始休暇

けやき

- 2日(土) ケース検討会議
- 16日(土) 職員会議
- 23日(土) 忘年会
- 29日(金) 1月3日(水)
年末年始休暇



マロニエ緑花祭を終えて

九月八日から宇都宮会場と壬生会場の2会場において五十五日間に及ぶ緑花祭が始まりました。ナイスハートプラザ（授産振興センター）がある壬生会場の売場には県内十数カ所の作業所の自主製品がずらりと並びました。けやき作業所では毎日ではないもののパン販売をすることにしました。

初めは会場の場所や、納品時間、販売員等の問題があり、五十五日も持つのかなと不安がよぎりました。パンの売れ行きはと言えば、九月は残暑のせいもあつて完売することはほとんどなく、余りを持ち帰ることも度々でした。十月になり徐々に過ごしやすいく気候になると、入場者も日に日に増えていき平日でもお昼過ぎには売り切れることもありました。仲間とともに販売に何度も行っているときに、あるお客さんから「この前買ったけど、おいしくてまた来ちゃった。」と沢山買って下さったお客さんがいました。お客さんの「おいしかったです。」の一言がとてもうれしく、壬生まで売りに来て良かったなあとおもいました。緑花祭

後半は毎回のようによく売れ、この期間中、多くの人にけやきのパンが知れ渡ったと思います。色々ありましたが、良い五十五日間でした。

（けやき 田村）

芳賀・市貝町民祭に参加して

今年のけやき作業所等後援会のバザーは芳賀町民祭と市貝町民祭に参加しました。

芳賀町民祭は十一月十一日（土）・十二日（日）の両日に芳賀町役場駐車場で行われました。午前九時に保護者会の食堂とヘイコーパックさんのクリスマスグッズのお店も一緒にバザーが開店しました。両日も雨には降られず天気に恵まれ、パンは好調に売れたり、保護者会の食べ物はお昼前に売り切れたり、ヘイコーパックのクリスマスグッズやリボンが好調に売れていました。しかし、一方バザーは雑貨や寝具は例年通りの売り上げでしたが、衣類の売り上げが伸びませんでした。その理由として、商品の販売価格設定が安かったことと新品

衣料を安く売っているお店が近隣にできお客さんの目が肥えてきているからではないかと思われました。

市貝町民祭は十一月二十三日（木）に市貝町民センターで行われました。市貝町からけやき作業所に通っている仲間の人数が増えてきて、市貝町の人達にけやき作業所の名前を知ってもらうため、今年初めて参加しました。こちらは場所がテント一つの場所しかなかったため、厨房職員が調理したもち煮・煮卵・パンとミニバザーで参加しました。バザーは会場内にフリーマーケットのコーナーがあつたためなかなか売り上げは伸びませんでした。またパンも市貝町ではけやき作業所のパンの知名度が低いのか売れず最後は町民祭実行委員会が放送で何回も宣伝してくれたおかげで売れました。自家製の食料は売れ行きが好調でお昼過ぎには完売してしまいました。

市貝町の保護者の協力のおかげで無事に終了しました。

ありがとうございます。

（けやき 田島）



掲 示 板

ボランティア 募集中!

こぶし・けやきと一緒に
楽しく仕事をしませんか?

(はあとの会について)
「はあとの会」は、心身に障害
を持つ子供と親の集まりです。
「障害を正しく理解してもらい
たい、子供達を地域社会の中で
受け入れてもらいたい」そんな
願いから生まれました。目標の
一つに「親がいなくなった後、
この子供が安心して暮らせるよ
うに」という思いが実を結ぶよ
うに活動を開始したところです。
皆様応援よろしくをお願いします。

共同作業所
全国連絡会賛助
会員募集!

<連絡先>
栃木支部事務局
けやき作業所

どんぐりの家

平成12年12月3日

日曜日 上映決定!!

(昼の部) 会場 1:30

開演 2:00

(夜の部) 会場 5:30

開演 6:00

場所 上河内町体育館卓球室

料金 大人 前売り 600円

学生 400円

(当日100円増)

お問い合わせは
*こぶし
作業所へ

にこにこパンおみ

注文票をFAXにてお送りいたし
ますので、お気軽にご連絡下さい。

こぶし・けやき後援会
全国連絡会に賛助力を貸す
ご連絡はこぶし・けやきどちらでも
けっこうです。宜しくお願いいたします。

粉石けん

1.2kg箱入

¥270

1.2kg袋入

¥240

固形石けん

2個入

¥100

ご注文いつ

でもo.k!

好評発売中!
ふふふ石けん